

平和な未来を求めて

国頭村立佐手小学校 六年
上地 光琉

ぼくには夢がある

だれにでも尊敬され

いつまでも平和に暮らす

それがぼくの夢

夢を叶えるには

人とのつながりが大切である

人はひとりでは生きていけない

だれかの支えがあり

愛情が寄りそい

生きている

おじいちゃんがいて おばあちゃんがいる

平和 平和

お父さんがいて お母さんがいる

平和 平和

兄がいて 妹がいる

平和 平和

先生がいて 友達がいる

平和 平和

家族がいることが

ぼくにとつての平和であり

当たり前である

広い大地に 大きな海

青く澄んだ空

ぼくの生まれたこの島は

緑豊かな 美しい地

ここ沖縄で 昔 戦があつた

大きな 大きな 戦があつた

人々を苦しめ 地獄に突き落とす

泣き叫び もがき 悲しむ

心も身体も ぼろぼろになり

やがてはつき果ててしまう

忘れたくない過去

忘れてはいけない現実

決して 決して

戦争さえなければ

幸せだったはずなのに

戦争という名の悪夢

ぼくは戦争を知らない

だけど戦争の恐ろしさは知っている

どれだけ人を苦しめ

どんなに人を恐怖におとし入れるのか

その真実は

戦争を体験した人にしかわからない

悪夢はまだ続いている

人々が目を覚まさない限り

決して終わらない

拳も武器も権力も何もいらない

必要なのはにぎり固めた拳を広げ

手と手をつなぐ勇気だけ

心と心を結ぶ絆だけ

さあ、今こそ手と手をつなぎ

立ち上がろう

そうすれば きつと

何か変わるにちがいない

言葉のかべ 心のやみ

未来に夢をつなげていこう

希望を持ち 未来にたくそう

人々の思いを 願いを

ぼくたちの手で